平成 29 年度 学校だより

輝け、大越っ子

《かしこく・やさしく・たくましく》
発　行　日　平成 29 年 5 月 30 日
第３号　福島県田村市立大越小学校
発行責任者　校長　根内 喜代重

躍動する大越っ子、こだまする歓声、最高の運動会！



５月２０日（土）、美しい緑と青い空、風穏やかな「つつじヶ丘運動公園」は絶好の運動会日和となり、１９４名の堂々の入場行進でスタートした春季大運動会は、子どもたちの活躍と来賓の皆様をはじめ、保護者や地域の皆様の温かいご声援とご協力のお陰を持ちまして最高の運動会となりました。



「つつじヶ丘運動公園」での運動会も３年目となりました。校庭が使用できず、思うように練習できない状況にありながらも、子どもたちも教職員もお世話になっている皆様に元気や感謝の思いをお伝えしようと精一杯練習に取り組んできました。


みんながんばったね、
１等賞のシールだよ！

かけがえのない仲間と力を合わせ、自分が出場する競技や演技はもちろんのこと、応援も係の仕事も最後まで一生懸命に頑張りました。

徒競走をはじめ、２０種目にわたって競技や演技が行われましたが、紅白玉入れ（１・２年）、綱引き（３・４年）、２人３脚（５・６年、保護者）などの団体競技は、大接戦で紅白リレーまで勝敗が全く予想がつきませんでした。


さあ、お母さん、急いでね！

最後は、わずか５点差で白組が勝ちました。


１．２．３年生、元気いっぱい、リズムにのったダンスです！

一人一人が「自分の力を出し切ったぞ」と感じる思い出に残るすばらしい運動会になったと思います。


見事な鼓笛隊演奏です！

なお、ＰＴＡ役員様をはじめ、保護者の皆様には、前日から準備や当日の係、片付けなど大変お世話になりましたことに心から御礼を申し上げます。

会津若松を満喫、思い出に残る修学旅行！



「ハイカラさん」です！

５月２５日（木）～２６日（金）の２日間、６年生３５名が修学旅行に行ってきました。１日目は、会津若松市内の班別フィールドワークです。まちなか周遊バス（「ハイカラさん」と「あかべえ」）を利用して、飯盛山、さざえ堂、会津武家屋敷、県立博物館、御薬園、昭和なつかし館、赤べこ絵づけ体験などを班の計画にそって探検しました。昼食も自分の好きなものをおいしくいただきました。宿泊は、会津自然の家でした。夕食（バイキング）、入浴後は、１日の反省をし、トランプなどをしながらゆっくりと過ごすしていました。２日目は、「会津漆器蒔絵」、「陶芸手びねり」、「游印づくり」の３グループに分かれての体験学習です。いずれも見事なできばえで、子どもたちはとても満足そうでした。「赤べこ」とともに、いいお土産になったと思います。保護者の皆様には、送迎など大変お世話になりました。お陰様で、散策には適した天候に恵まれ、子どもたちにとって思い出深い修学旅行になったと思います。ありがとうございました。


「さあ、街探検に出発だ！


これが「わっぱ飯」か、おいしいね！

【体験の大切さ】

修学旅行を通して、体験することの意義について改めて考えさせられました。

「体験」が、子どもたちの豊かな心を育み、学力を高めることにもつながることは、誰もが承知していることだと思います。実際に、見てみる・聞いてみる・やってみなければ分からないことはたくさんあります。そういう意味でも大切ですが、その際に「子どもたちの心がどれだけ動かされ、どれだけ考えるか」が特に大切であると思います。気づきや発見、驚き、疑問、そして、考える・判断する・表現するなどが、より多く、広く、深くあることが、子どもたちの心をより豊かに育み、学力をいっそう高めていくことにつながるのです。

そのためには、リアリティのある場面を設定し、自分で考えて自分で行動する主体的な学びを可能にすることが必要です。そういう場面が「探検先との電話交渉」など事前学習から数多く見られたことは、今回の修学旅行が思い出深い行事とともに、より質の高い学びの機会になったと思います。この体験を明日からの学習にしっかりいかしてくれると信じています。





「うまく話せるかな。分かってもらえるかな。緊張する。」、
「こんな感じかな。さあ、ゆっくり回すよ。どう、うまくいった。どうすれば・・・。」
このような緊張感や思考が子どもたちの豊かな心を育み、学力を高めます！